



株式会社マルエツ

〒170-8401 東京都豊島区東池袋5-51-12
<https://www.maruetsu.co.jp/>



ホームページはこちらから



この会社案内は、FSC® 認証紙を使用し、植物油インクで印刷しています。



はじめまして、私たちはマルエツです。

私たちは、地域に根差した食品スーパーマーケットとして
皆さまの健康で豊かな食生活に貢献してまいります。



経営理念
存在意義 私たちは、安全でおいしい商品の提供を通じて、健康で豊かな食生活に貢献します。
経営姿勢 私たちは、常に革新と挑戦を続け、公正で誠実な企業であり続けます。
行動規範 私たちは、地域のお客様に愛される、笑顔と活気あふれる店づくりを推進します。

お客さまへの約束
わたしたちが目指すもの お客さまの「笑顔のある食卓」を応援します。
わたしたちがお届けするもの お客さまに「新鮮な発見と感動」をお届けします。
わたしたちのこころ この街を愛し、「お客さまとの絆」を大切にします。

ブランドメッセージ **しあわせいかつ。**

「ふだんの暮らしの中で、ちょっぴり幸せな気持ちを感じていただきたい」という、
マルエツがお客さまに伝えたい思いが詰まった言葉です。

「シンボルマーク」について

「シンボルマーク」には、私たちがお客さまにお届けする、
新鮮でいりどり豊かな「食」のイメージを「魚や野菜に
見える形」と「生命感あふれた色調」で表現するとともに、
「マルエツ」の頭文字である「M」を表現しています。



お客さまに、従業員に選ばれる「マルエツ」へ

マルエツは、首都圏の1都5県に306店舗(2024年7月末現在)を展開する食品スーパーマーケットチェーンとして、「マルエツ」「マルエツ プチ」「リンコス」の屋号でお客さまをお迎えしています。

エネルギー価格の上昇や円安を背景とした物価の上昇に加え、人手不足の深刻化が拡大するなど私たちを取り巻く環境は、常に変化を続けています。そのような状況下でも、お客さまの想いに寄り添い、応えていくことが私たちの使命です。

その使命を果たすため、マルエツのブランドメッセージである「しあわせいかつ。」をもとに、お客さま、従業員、そして地域の暮らしを支える「いちばん近い存在」になりたいという想いを、私たちの「ありたい姿」として明文化し、活動指針としています。これは、従業員全員が同じ方向へ歩み、マルエツの存在意義を確かなものとするためのメッセージです。この想いのもと、お客さまに選んでいただけるお店づくりに取り組んでいます。

また、サステナブルな社会の実現に向け、環境に配慮した取り組みや社会課題の解決に寄与する活動を推進するとともに、従業員一人ひとりの成長がマルエツの成長と考え、自主性を重んじる企業文化の醸成に努めています。

当社は1945年10月に埼玉県浦和市(現さいたま市)で鮮魚店「魚悦商店」としてスタートし、2025年で創業80周年となります。これまで支えてくださった全てのステークホルダーの皆さまに感謝するとともに、その先の未来まで、私たちの「存在意義」に基づき、お客さまに、従業員に向き合い、歩みを続けてまいります。



代表取締役会長
古瀬 良多



代表取締役社長
本間 正治

数字で見るマルエツ

※2024年2月期連結決算数値



創業

79周年



店舗数

306店舗

※2024年7月末現在、魚悦を除く



1日の来店者数

約**630,000人**



連結営業収益

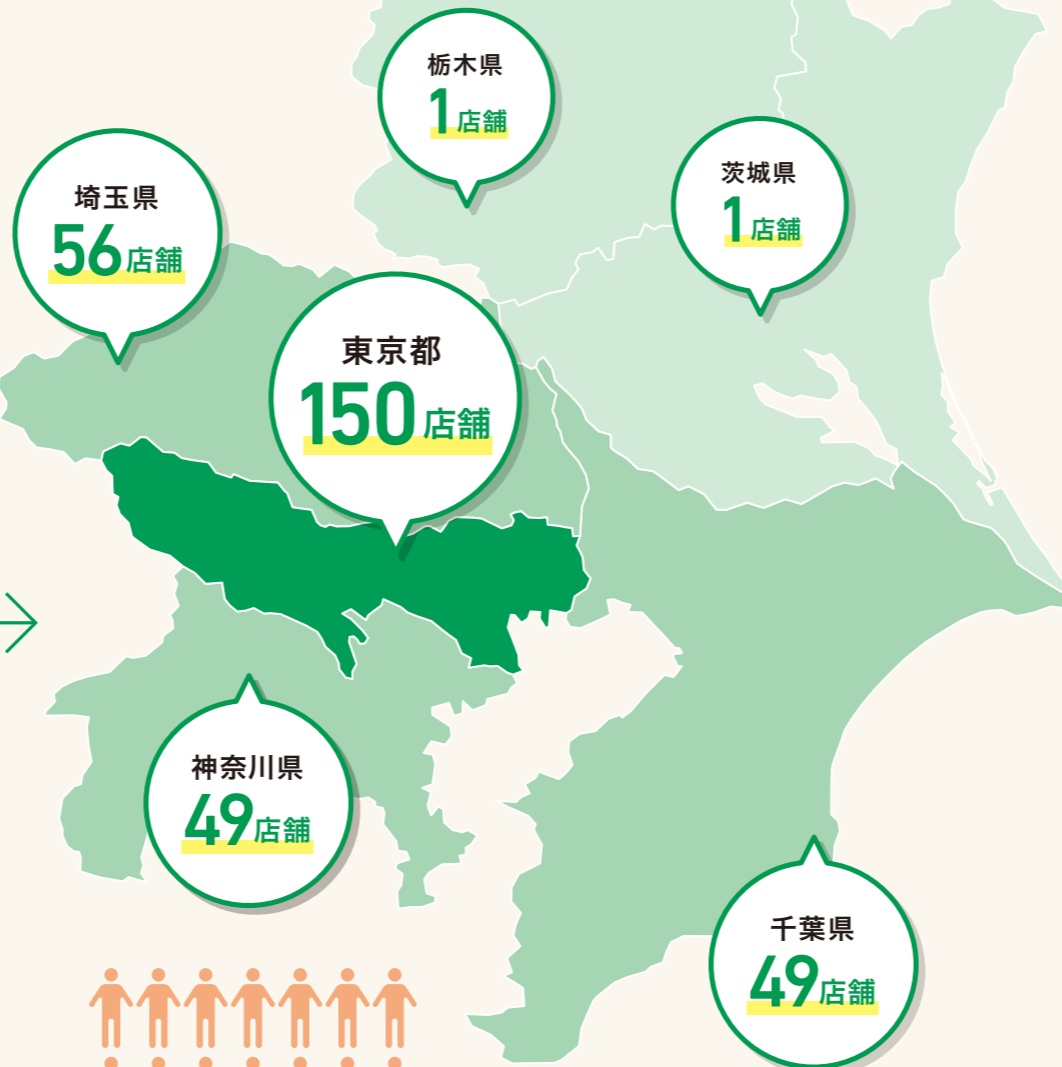
3,898億円



連結従業員数

15,572名

※パートタイマー11,714名を含む
(1日8時間換算による期中平均人員)



店舗業態



毎日楽しく便利にお買い物をしていただける、生鮮食品を中心としたスーパーマーケット。食料品のほか、日用雑貨など、幅広く品揃えています。

225店舗



都市部で生活されるお客さまに生鮮食品やできたてのお惣菜、日用雑貨など、普段の生活に必要な商品をご提供する都市型スーパーマーケット。約40坪から150坪の売場で、都内を中心に展開しています。

75店舗



居心地の良さと、ちょっと贅沢でおいしい価値ある商品を提供し、お客さまとコミュニケーションの輪でつながる上質スーパーマーケット「リンコス」です。

6店舗



豊洲市場より日々仕入れを行い、鮮度と価値にこだわった鮮魚専門店です。



マルエツの『ありたい姿』

マルエツは、将来、わたしたちが目指す姿を「ありたい姿」として明文化し、活動指針としています。

《ありたい姿》

ブランドメッセージである「しあわせいかつ。」をもとに、お客さま、従業員、そして地域の暮らしを支える「いちばん近い存在」になりたいという想いが込められています。

しあわせのいちばん近くに

新鮮・おいしい・健康を、もっと身近に人や地域とのつながりを、もっと身近に居心地の良いほっとする場を、もっと身近にマルエツなら、わたしの“ほしい”が見つかるマルエツには、みんなの“笑顔”があふれている

ふだんの暮らしの中にちよっぴりしあわせな気持ちをしあわせいかつ。

ペゴニアの花言葉：「親切」「幸福な日々」

地域の皆さまと歩む『Well-being Journey』

健康で豊かな食生活を通じた、地域の皆さまの『Well-being』への道のりを旅になぞらえ、一連の流れを『Well-being Journey』と定義しました。マルエツはこの旅に寄り添い、ともに歩むことを目指しています。



地域の人々の「Well-being Journey」の一部である街並みをイメージした「Well-being City (ウェルビーイング・シティ)」。

Illustration: インガイ ヒトヒサ

店舗の空間デザインモチーフとして、癒しとめぐる楽しさを空間で演出することで、お客さまのWell-being体験に寄り添っていきます。

「しあわせいかつ。」を目指して

私たちのブランドメッセージ「しあわせいかつ。」は、「しあわせ」と「せいかつ」を掛け合わせた言葉。
“ふだんの暮らし”で感じる“ちょっぴり幸せな気持ち”をお客さまへ届けていきます。お客さまと従業員の笑顔のため、今までとこれからのつながりを大切に、お客さまに寄り添った接客や、マルエツでいきいきと働ける制度づくりに取り組んでいます。

ファンがうまれる 商品づくり



P.7-8

DXの推進



P.9-10

お客さまとの つながりを創出



P.11-14

一人ひとりが 働きやすい職場



P.15-16

ファンがうまれる商品づくり

独自性を追求した商品開発

マルエツは、食品スーパーマーケットとして、安全・安心はもちろん、お客さまから魅力的に思っただけの商品づくりを推進しています。特に、生鮮食品では産地や農園にこだわった新鮮な商品や、お客さまのニーズにお応えする商品の開発に努め、マルエツでしか買えない商品を多数展開しています。

くだもの日和



優夢牛



おつまFISH・おつまMEAT



和田農園の野菜



みちのく森林鶏



お魚屋さんのおつまみ



(まるえつさんらくこ)

maruetsu365

お客さまの笑顔あふれる毎日を応援するため、当社が自信を持っておすすめする商品。食品から日用品まで、各売場で展開しています。こだわりの品質は「黒」、お手頃な価格商品は「緑」のPOPが目印です。



グループの強みを活かした品揃えとして、U.S.M.Hのプライベートブランド「eatime(イータイム)」や、イオンのプライベートブランド「TOPVALU(トップバリュ)」を展開しています。

eatime



TOPVALU

さあ、ワクワク
すまほうへ!

TOPVALU
グリーンアイ

もっと安心、
もっとやさしく

BESTPRICE
TOPVALU

今度も明も、
ほしいもの

ホームページでも
独自商品をご紹介



お客さまの健康で豊かな食生活に貢献するため、お客さまへ自信を持っておすすめできる、魅力あるおいしい商品の開発に取り組んでいます。豊富な品揃えによって商品選びが楽しくなるお店づくりに努めています。



マルエツのおいしいデリカの実現

商品力・品揃え・店舗競争力を強化し、お客さまにマルエツを想起していただく売場・商品づくりに努めています。

草加デリカセンターの開設



お客さまのニーズに合わせた商品や、調理法にこだわった「おいしい商品」の開発・供給のため、2024年3月からデリカセンター(埼玉県草加市)の稼働を開始しました。マルエツ全店に加え、U.S.M.Hグループの計500店舗強に供給し、グループ全体の商品力を強化してまいります。

こだわりのオリジナルブランド 「まいごころ」「うまごころ」



素材や調理法にこだわり開発・製造したオリジナルブランドを「まいごころ」(おにぎりや巻き寿司などの米飯商品)、「うまごころ」(おかずなどのお惣菜商品)と名付け、毎月、新商品やリニューアル商品を発売することで、お客さまに楽しく選んでいただけるデリカ売場を目指しています。

サステナブルな社会の実現につながる商品づくり

生物多様性に配慮した商品を展開することで、地球環境の保全に寄与し、持続可能な社会の実現を目指します。

サステナブル志向のプライベートブランド「Green Growers(グリーン growers)」



U.S.M.Hでは、「安全・安心」、「健康的」、「環境にやさしい」をコンセプトに、サステナビリティに配慮した商品をプライベートブランド「Green Growers(グリーン growers)」として展開しています。自社植物工場「THE TERRABASE(ザ・テラベース)土浦」では、密閉された栽培装置、機械化された清潔な環境のもとでレタスなどを生産し、栽培時の水使用量低減化にも取り組んでいます。また、ミールシリーズ「GREEN GROWERS Meal」では、植物性代替肉「BEYOND MEAT®」を使用したカレーやポロネーゼ、麻婆豆腐などのレトルト食品を販売しています。

マルエツの
取り組み

DXの推進



多様化するライフスタイルへの対応とDXの推進により、ご来店くださるお客さまも、オンラインでお買い物されるお客さまも、より気軽にお買い物を楽しんでいただけるサービスを展開しています。また、マルエツで働く私たちの業務においても積極的にDXの導入を進めています。

DX認定事業者

デジタルを活用した新たな店舗づくりを積極的に推進したことが認められ、2022年、経済産業省が定めるDX認定制度に基づく「DX認定事業者」として認定を受け、2024年4月1日に更新いたしました。



お買い物をもっと便利に

セルフレジ

商品登録からお買い物の支払いまで、全てをお客さまに行っていただくフルセルフレジの導入を進めています。また、セルフレジを含む全てのレジでスマートフォン決済が利用できます。



Scan&Go

お客さまが、ご自身のスマートフォンで商品登録からお買い物の支払いまで行える決済機能アプリ。会計の際にレジに並ぶことなく、スムーズなお買い物が可能です。



Online Delivery (オンラインデリバリー)

食料品から日用品まで、毎日の生活に必要なものを好きなきに、好きな場所から、パソコンまたはスマートフォンで注文できるサービスです。



ネットスーパーのOnline Deliveryでは、お店で取り扱いのある商品を、ご自宅や配送エリア内の指定先で受け取ることができます。

ignicaストア



ECサイトのignicaストアでは、バイヤーが厳選したこだわりのギフト商品やペット用品、家電製品など、お店で取り扱いのない商品も取り揃え、全国各地にお届けいたします。

仕事をもっとスムーズに

電子棚札

店舗での業務負担を減らすため、電子棚札の導入を進めています。今まで手作業で行っていたPOPの差し替えや、売価チェックにかかる時間や負担を軽減し、作業効率が大幅に改善しました。作業の効率化により生まれた時間を、売場づくりやお客さま接点の創出に活かしています。



需要予測型発注

店舗での発注には、天気予報を活用することで算出された来店客予測データなどを参照することで、より高精度な販売数の予測が可能となった「需要予測型発注」を導入しています。今まで手動で行っていた発注作業の時間を大幅に削減し、業務の効率化に寄与しています。また、発注量を適正化することで、廃棄ロスの削減や、機会ロスの防止に努めています。



お客さまとのつながりを創出

マルエツはお客さまに寄り添う気持ちを大切にしています。全てのお客さまがいつでも快適に、安心してお買い物をお楽しみいただけるよう、さまざまなサービスを展開しています。



サービス 多様化するお買い物ニーズにお応え

らくらくクマさん宅配便

店舗でお買い上げいただいた商品を、3時間以内にご自宅へ配達する「らくらくクマさん宅配便」(有料)を展開しています。妊娠中や、3歳以下のお子さまがいる方、70歳以上の方、障がいをお持ちの方、および要介護認定されている方を対象に、お得にご利用いただけるバスポートを配布しています。



移動スーパー

全てのお客さまに便利で楽しいお買い物体験を提供するため、神奈川県内の各自治体と協力し、移動スーパーを運行しています。地域のライフラインとしての役割を担うだけでなく、お客さま同士のコミュニケーションにもつながっています。



Uber Eats (ウーバーイーツ)

生鮮食品からお惣菜、飲料、酒、乳製品や調味料、日用品まで、店舗で取り扱っている商品を「Uber Eats」Webサイトやアプリからご注文いただけます。ご注文後は、平均30分程度*でお客さまの元へお届けします。



*天候、その他の要因により、到着時間が変動する場合があります。

smart petit (スマートプチ)

「smart petit (スマートプチ)」は法人向けの無人店舗です。オフィスに勤務する従業員向けに、職場の一角で当社の商品をスマートフォン決済アプリ「Scan&Go」でご購入いただけます。また、有事の際は、商品をそのままお使いいただける、食品備蓄としての役割も担っています。



接客 お客さまに寄り添ったサービス

サービス介助士*

当社では「サービス介助士」の資格取得を推進しています。ご高齢の方や障がいのある方のために「おもてなしの心」と「介助技術」を学びます。全てのお客さまに安心してお買い物をしていただくため、各店舗で活躍しています。

サービス介助士 約1,020名 (2024年5月末現在)



*「サービス介助士」とは、公益財団法人日本ケアフィット共育機構が認定する資格です。

店長への直行便

1996年より全店に設置して以来、お客さまからいただいた貴重なご意見、ご要望に対して3日以内に店長からお返事している「店長への直行便」。インターネットなどを含めると、年間約1万6,000件もの声をいただいております。お客さまからの貴重なご意見は全社で共有し、経営やよりよい店づくりに活かしています。



グリーター五ツ星

挨拶、歓迎という意味を込め、レジ担当者を「グリーター」と呼んでいます。接客レベル向上の取り組みとして、グリーターを対象に厳正な筆記・実技テストを経て認定される「グリーター五ツ星」という社内認定制度を設けています。



五ツ星バッジ

救命技能認定者

万が一の時に備えて、消防本部・消防署で実施されている「普通救命講習」に積極的に参加しています。「救命技能検定」取得にも取り組んでおり、現在、店管理職を中心に約590名の救命技能認定者が活躍しています。

救命技能認定者 約590名 (2024年5月末現在)



お客さまとのつながりを創出



お客さまからのご要望にお応えするだけでなく、豊富な商品知識を持つ従業員による接客や、売場からの情報発信、イベントなどの開催を積極的に行うことで、お客さまとのコミュニケーションを大切にしています。

売場

健康で豊かな暮らしをご提案

商品知識検定

所属部署にかかわらず、全従業員が店舗で扱う商品のさまざまな知識を習得し、お客さまのお買い物をサポートできるよう、定期的に商品知識検定を実施しています。より多くの知識の習得がマルエツのファンづくりにつながっています。



健康課題への取り組みや周知

「もっとからだにイイコト!」をアイコンに、からだに必要な栄養素を補うなど、健康的な食生活を提案する売場展開を行っています。たんぱく質やミネラル、減塩などを色分けしたPOPなどを活用し、分かりやすくご案内。商品・サービス・情報提供などさまざまな切り口から、皆さまの健康を支えます。



キッチンいーとびあ

一部店舗に設置の「キッチンいーとびあ」では、売場の商品を使って、毎日の献立づくりや健康のヒントになるメニューを提案しています。「食の豊かさ」を楽しんでいただくとともに、お客さまとのコミュニケーションの場となっています。



つながり

レシピの公開やイベントの開催

お客さま参画型イベントの開催

地域・お客さまとのつながりを創出する場として、一部店舗では官公庁などと連携した催しや、子どもたちを対象としたイベントを実施しています。また、店舗以外でもりんご狩りなど、お客さまと一緒に楽しめるイベントも多数開催しています。これらの活動を通して、お客さまとの絆を深めています。



「暮らし方録」の発行

店頭で気軽に手に取っていただけるフリーペーパー「暮らし方録」は、レシピ提案や旬の情報、生活情報、当社のおすすめ商品など、お客さまの暮らしに役立つ情報を紹介しています。1984年の創刊から500号を超え、多くのお客さまにご好評をいただいています。



料理&カルチャー教室 いーとびあ

「お客さまの笑顔のある食卓」を応援するため、「食」と「暮らし」を豊かにする情報の発信と実践の場として、埼玉県蕨市で「いーとびあ」を運営しています。パン・お菓子・料理講座のほか、当社の管理栄養士・栄養士が講師を務める、子ども料理教室「キッズクッキング」では、子どもたちの食育をサポートしています。また、公益社団法人日本栄養士会の「認定栄養ケア・ステーション」として、地域の皆さまの健康をサポートさせていただく拠点にもなっており、健康セミナーや栄養相談を定期的に行っています。



一人ひとりが働きやすい職場



マルエツはお客さまの笑顔はもちろん、従業員の笑顔を大切にします。そのために従業員の多様性を尊重しながら、一人ひとりが個性を發揮し、意欲的に働くことができる職場づくりに取り組んでいます。

多様な人材が活躍できる場へ

女性活躍の推進

全ての従業員が“わたしらしく”働き続けられるよう、職場環境の改善に取り組んでいます。女性活躍の取り組みの一つとして、ダイバーシティ推進室を設置し、一人ひとりが自身の将来を描けるよう、サポートする体制を整えています。

厚生労働大臣「えるぼし認定」2段階目取得



ライフイベントに合わせた働き方

当社では、全ての従業員がやりがいを持って、いきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。出産や育児、介護など従業員一人ひとりのライフイベントに合った働き方を選択することができます。



手を挙げてチャレンジできる風土

「新しいことにチャレンジしたい」「自分の経験やスキルを活かした業務に関わりたい」など、従業員の夢や、キャリアを応援しています。これまでに、社内公募を通過し、多様な視点を持った従業員が各部署で活躍しています。

誰もが活躍できる職場環境

誰もがいきいきと働ける雇用機会の創出と、職場環境の整備を積極的に進めています。60歳以降も、これまでの経験を活かし、店長・エリアストアマネジャーとして活躍できる制度があるほか、ベトナムからの外国人技能実習生の受け入れや外国人採用を積極的に行い、さまざまな従業員が会社で活躍しています。障がい者雇用では、当社の特例子会社「株式会社マーノ」を通じて、事務代行や店舗での商品陳列など、さまざまな場面で活躍の場を広げています。



外国人技能実習生
受け入れ人数 **253名** (2024年7月末現在)
障がい者雇用率 **3.3%** (2024年6月1日現在)

自分らしく働ける職場づくり

従業員一人ひとりの個性を尊重し、自分らしく、意欲的に働くことのできる職場づくりを目指しています。その一環として、安全衛生の視点において順守すべき基準を保持しながら、業務に支障をきたさず、お客さまに不快感を与えないという前提のもと、従業員が自由な髪型や髪色・服装・身だしなみで勤務できる環境を整えています。

従業員の身だしなみルール変更
自分らしさを尊重した身だしなみへ

マルエツは自由に働ける心の鮮度も大切にしているため、従業員の身だしなみの基準を大幅に見直しました。お客様のご理解のほどお願い致します。

※安全・衛生上の観点で一部のルールがあります。

社内公募に応募した方の声



好きを仕事に活かしたい
グリーティング
⇒サステナビリティ推進担当
A.T.さん
パートナー

社内公募に応募したきっかけ

エシカル・サステナブルなモノ・コトについて興味があり、主体的に勉強していました。そんな中、社内公募の存在を知り、仕事に活かさないかと考え、応募しました。

希望職種に就いた感想

マルエツのサステナビリティを多くの方に知っていただくため、掲示物などの制作を行っています。自分の知識を活用し、デザインやイラストなど好きなことも活かせるので嬉しいです。

公募で得た経験を、今後どう活かしていきたいか

周りの方々に支えてもらいながら、新しいことにチャレンジする機会をたくさんいただきました。今後も、社内外に向けてサステナビリティの考え方を身近に感じていただけるような発信を、積極的に続けたいです。



完全未経験からの挑戦
惣菜 マネジャー
⇒ポイントカード顧客分析担当
(現在は経営戦略部 課長として活躍)
Y.T.さん
正社員

社内公募に応募したきっかけ

店舗での帳票の作成や、数値を比較して品揃えや製造数を変えることが得意でした。当時、新規事業としてデータ分析業務の募集があり、店長から背中を押され応募しました。

希望職種に就いた感想

新規事業であったため、全てが手探りの状況でしたが、部署の皆さんと協力し、Vポイント(旧 Tポイント)の全店導入や社内販促、顧客分析に貢献できたことにやりがいを感じました。

公募で得た経験を、今後どう活かしていきたいか

社内外の意見やノウハウを吸収し、一歩ずつ進むことが大切だと学びました。今は課長として異なる業務をしていますが、これまでの経験を糧に、皆さんと一緒にキャリアをつくり上げていきたいです。

環境配慮への取り組み

サステナブルな事業活動の実現に向け、
お客さまとともに地球環境を守る取り組みを続けています。



詳細はこちらから



マルエツ環境方針

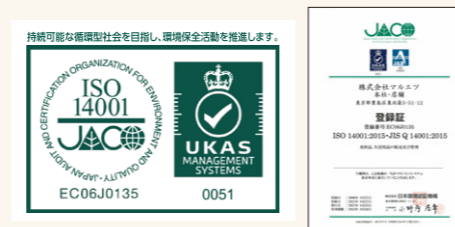
マルエツは地域に密着したスーパーマーケットとして、安全で安心な商品やサービスの提供とともに持続可能な循環型社会を目指し、お客さまと共に環境保全活動や地域の環境活動への支援を推進します。

1. 当社の事業活動に伴う環境負荷を最小限にするために、環境目標の設定・推進を含め、環境マネジメントシステムを運用し継続的に改善します。
 - ① 電気使用量削減等の省エネルギー・省資源を推進します。
 - ② 最終的な廃棄物を削減するために3R[リデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)]を推進します。
 - ③ 地球温暖化防止のため、1店舗あたりのCO₂排出量を削減します。
 - ④ 環境に配慮した商品の普及に取り組みます。
2. 環境保護のため汚染の予防や生態系の保護に努めるとともに、環境に関する適用可能な法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
3. この方針を全従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりが主体的に環境保全活動に取り組みます。
4. この方針を社内外に公表し、積極的な情報提供に努めます。

株式会社マルエツ 代表取締役社長 本間 正治

「ISO 14001」の取り組みを推進

環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格である「ISO14001」の認証を、2006年9月に取得しました。現在の認証事業所数は299事業所(本社含む)となっています。



太陽光発電・EV充電スタンドの導入

西大宮駅前店、船橋三山店、草加デリカセンターでは屋上に太陽光発電設備を設置。電力の自産自消に取り組むことで、電力のコスト削減に貢献しています。また、一部店舗では、インフラサービスの一環としてお客さま用の駐車場に、電気自動車用の急速充電スタンドを設置し、環境負荷の低減に貢献しています。



再生可能エネルギー由来の電力を使用

当社では、約190店舗において再生可能エネルギー由来の電力を100%使用しています。これは、マルエツ全体の使用電力の約60%に相当し、CO₂排出量の削減に大きく貢献しています。



リサイクル活動の推進

再生可能資源の回収を推進するため、店頭で食品トレイや紙パックなどのリサイクルボックスを設置しています。紙パックについては、一部店舗でアルミ蒸着加工の紙パック製品も回収対象としています。



廃棄物の「見える化」で削減意識を向上

廃棄物の排出量削減の第一歩は、どのようなごみをどれだけ排出しているかを把握することだと考え、当社では廃棄物計量管理システムをマルエツ屋号店舗を中心に導入しています。自分でごみを計量し、排出量を数値として可視化することで、従業員一人ひとりの廃棄物削減の意識を高めています。



環境保全活動への支援

自然環境・生物多様性の保全を推進すべく、2020年度より環境保全団体への寄付を行っています。寄付を通して、海洋プラスチックごみ問題などの改善や環境保全活動の支援に取り組んでいます。

寄付先

- ◆ 一般社団法人JEAN(ジーン)
- ◆ 公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)



「マルエツの森」森林保全ボランティア活動

2010年より、埼玉県森林保全事業である「武蔵野の森再生事業」に参加しています。埼玉県日高市横手にある「マルエツの森」では、2010年に山桜やかえでなどを植樹後、保全活動として従業員ボランティアによる下草刈りを実施しています。地域の自然環境を守り、温室効果ガス削減に向け、活動を継続していきます。



荒川クリーンエイド活動

荒川河川敷のさまざまな場所でごみを拾いながら、河川ごみや水質、自然回復などの問題を考え、豊かな自然を取り戻そうとする活動です。当社では環境教育の一環として、入社2年目の社員全員が参加し、役割分担と他者とのコミュニケーションを学んでいます。





豊かな社会を目指す取り組み

地域のお客さまの笑顔のため、持続可能な地域社会の発展のため、社会貢献活動を積極的に推進しています。



詳細はこちらから



お客さまとともに「子ども食堂」を応援

未来を担う子どもたちの健やかな成長と、地域の活性化および持続可能な発展に向けた取り組みとして、全店に「子ども食堂」応援募金箱を設置。お客さまとともに「子ども食堂」を応援しています。毎月、お預かりしたお客さまの善意と当社からの拠出金は「子ども食堂」を支援するネットワーク団体（中間支援団体）の活動を支える「認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ」を通して、当社が出店する地域の「子ども食堂」へお届けしています。



写真提供：認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ

累計寄付額 **9,800万円** (2024年6月末現在)

CCCMKホールディングス株式会社が主催・運営する共通ポイント「Vポイント」で「子ども食堂」の支援ができる「Vポイント」募金も実施しています。

Vポイントサイト(Vポイント募金) マルエツ×むすびえ「子ども食堂」応援募金



フードドライブ活動の推進

お客さまのご協力のもと、ご家庭で眠っている食品を店舗へお寄せいただき、支援を必要としている施設や団体、ご家庭に届ける活動を行うフードバンク団体などへ寄付する「フードドライブ」活動を、現在94店舗（2024年7月末現在）で実施しています。また、外箱の破損などで、店舗での販売が困難な商品のうち、未開封かつ賞味期限内の食品も同様に寄付を行い、地域社会の課題解決や食品ロス削減に貢献しています。



当社オリジナルの常設型食品寄付ボックス

盲導犬育成事業の支援

1993年より「盲導犬育成募金活動」を実施し、お客さまからお預かりした募金は「公益財団法人日本盲導犬協会」へ寄付しています。お客さまのご協力のもと、これまでの累計寄付額は3億円を超えました。今後も盲導犬ユーザーの方を含め、来店される全てのお客さまに気持ちよくお買い物をしていただけるお店づくりを目指します。



写真提供：公益財団法人日本盲導犬協会

累計寄付額 **3億67百万円** (2024年6月末現在)

飲料自動販売機売上金の1%を寄付

2008年度より、全店舗の店頭および店内に設置している飲料自動販売機の売上金1%相当額を、店舗が所在する地域の社会福祉協議会などを通して、介護・養護施設へ寄付する活動を行っています。これまでに車いすの購入や、施設内の手すりの設置などにお役立ていただいています。

累計寄付額 **4,967万円** (2024年2月末現在)



ペットボトルキャップ回収でワクチン寄贈

お客さまのご協力のもと、店頭で回収したペットボトルキャップをリサイクル資源として売却し、その売却益を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(JCV)へ寄付しています。寄付金はJCVを通して、ポリオワクチンをはじめとした各種ワクチンとなり、世界の国々へ贈られています。世界の子どもたちが健康で豊かに暮らせる環境づくりに貢献しています。



写真提供：認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

寄付実績 (2023~2024年分)

サステナブルな社会の実現を目指し、社会貢献活動や環境保全活動への支援を積極的に行っています。

主な寄付内容	期間	寄付金額	寄付先
盲導犬育成募金寄付	2023年3月~2024年2月	13,960,437円	公益財団法人日本盲導犬協会
「子ども食堂」応援募金寄付	2023年3月~2024年2月の店頭募金および当社からの拠出金	20,000,000円	認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ
飲料自動販売機売上金1%寄付	2023年3月~2024年2月の飲料自販機の売上金1%相当額	2,500,000円	各地域の社会福祉協議会
ペットボトルキャップ売却益寄付	2023年3月~2024年2月の回収分の売却益	1,382,160円	認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)
ウナギ資源保護活動寄付	2023年7月25日~30日に販売したウナギ製品の売上金から1点につき10円を拠出	1,913,400円	鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会
令和6年能登半島地震緊急支援募金	2024年1月4日~2024年1月31日	4,362,442円	被災地域の自治体
	2024年2月1日~2024年2月18日	2,211,151円	日本赤十字社
環境保全活動支援寄付		1,000,000円	一般社団法人JEAN(ジーン)
	2024年3月29日(寄付日)	1,000,000円	公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)

沿革

- 1945 魚悦商店を埼玉県浦和市(現さいたま市)にて創業
- 1952 有限会社魚悦商店設立
- 1959 有限会社丸悦ストアーに商号変更
- 1965 セルフサービスの食品スーパーマーケット1号店「大宮店」開店
- 1970 東京都に進出 / 株式会社丸悦ストアーに組織変更
- 1974 株式会社マルエツに商号変更
- 1975 埼玉県大宮市(現さいたま市)に、大宮物流センターを開設
- 1976 千葉県に進出
- 1977 食品スーパーマーケットで初めて
東京証券取引所市場第二部に上場
- 1978 株式会社プリマートと合併し、首都圏で100店舗を超える
- 1979 消費者モニター制度導入
- 1981 サンデーマート株式会社の株式取得
株式会社サンコーと合併
- 1984 東京・大阪両証券取引所市場第一部へ指定替え
- 1986 POSシステム導入開始
- 1989 本社を東京都豊島区東池袋に移転
- 1991 健康と食文化実践室「いーとびあ」開設 **CSR**
- 1993 盲導犬育成募金開始 **CSR**
- 1995 緑化資金導入 **CSR**
- 1996 お客さまの声を反映する「店長への直行便」導入 **CSR**
- 1999 平成11年度「消費者志向優良企業通産産業大臣表彰」受賞
- 2000 平成12年度 障害者雇用優良事業所および
優秀勤労者表彰式において「労働大臣表彰」受賞 **CSR**
- 2001 株式会社すえひろと業務・資本提携
- 2002 株式会社ポロロッカ株式取得
株式会社日本流通未来教育センター設立
マルエツ200店舗達成
- 2003 サンデーマート株式会社と株式会社すえひろが合併
- 2005 第4回「東京都グリーンコンシューマー奨励賞」受賞 **CSR**
- 2006 ISO14001認証取得(本社および5店舗) **CSR**
- 2007 新シンボルマーク、ブランド理念を制定
イオン株式会社、丸紅株式会社と業務提携
サンデーマート株式会社・株式会社ポロロッカと合併
- 2009 ISO14001認証取得(全社および全店) **CSR**
厚生労働省「障害者雇用優良企業」認証取得 **CSR**

- 2010 マルエツ・マルエツ プチ・リンコスの3つに店舗屋号を統合
常温物流センター開設(横浜、八潮)
川崎複合センター開設
- 2011 東日本大震災被災地復興に向けた支援の取り組み **CSR**
- 2012 三郷複合センター開設
中国出店に向けて蘇寧電器集団股份有限公司と合弁会社を設立
- 2013 ISO22000認証取得(川崎、三郷複合センター)
水産庁「魚の国のしあわせ大賞」実証事業部門最優秀賞受賞
中国1号店となる「リンコス無錫蘇寧プラザ店」開店
- 2014 「首都圏におけるスーパーマーケット連合」の
創設に関する合意(基本合意書締結)
中国2号店「リンコス無錫海岸城店」開店
「ウナギ資源保護活動」への支援開始 **CSR**
東京証券取引所市場第一部を上場廃止
- 2015 株式会社マルエツ、株式会社カスミ、
マックスバリュ関東株式会社が発行統合し、
共同持株会社「ユナイテッド・スーパーマーケット・
ホールディングス株式会社」を設立
同社は、東京証券取引所市場第一部に上場
「第5回カーボン・オフセット大賞」奨励賞受賞 **CSR**
「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」支援賞受賞 **CSR**
- 2016 東和ベーカリー・デリカセンター開設
- 2017 株式会社アスビズサポート設立
- 2018 女性活躍推進法「えるぼし」の2段階目を取得 **CSR**
- 2019 盲導犬育成募金累計3億円突破 **CSR**
マルエツカード発行
「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」東北支援賞
3年連続4度目の受賞 **CSR**
- 2020 300店舗達成
- 2021 法人向け無人店舗「スマート プチ」展開開始
- 2022 経済産業省「DX認定事業者」の認定取得
- 2023 中国子会社の持分譲渡
- 2024 草加デリカセンター開設

物流体制



当社の物流体制は、常温物流センター、生鮮加工機能を備えた低温複合センター、および小型店専用物流センターにより300を超える店舗を支えています。さらに、U.S.M.Hグループ会社へのデリカ商品の供給や八千代グロサリーセンターでの共同配送など、グループ全体での供給体制をさらに強化しています。

グループ企業

株式会社マルエツフレッシュフーズ

事業内容: 食料品の仕入、製造、加工および販売
本社所在地: 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
設立年月: 2010年4月
代表者: 代表取締役社長 川田 猛敏

会社案内は
こちらから



株式会社マーノ

事業内容: 業務受託事業、事務サービスの代行を行う特例子会社
本社所在地: 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
設立年月: 1992年3月
代表者: 代表取締役社長 福田 保

ホームページは
こちらから



株式会社マルエツ開発

事業内容: 不動産管理、店舗・ショッピングセンター開発業務
本社所在地: 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
設立年月: 1989年4月
代表者: 代表取締役社長 石井 英雅

ホームページは
こちらから



株式会社食品品質管理センター

事業内容: 食品の品質・安全・衛生検査の受託等
本社所在地: 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
設立年月: 2010年7月
代表者: 代表取締役社長 佐々木 裕一

株式会社アスビズサポート

事業内容: 労働者派遣事業、業務受託事業
本社所在地: 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
設立年月: 2017年3月
代表者: 代表取締役社長 川田 俊哉

株式会社日本流通未来教育センター

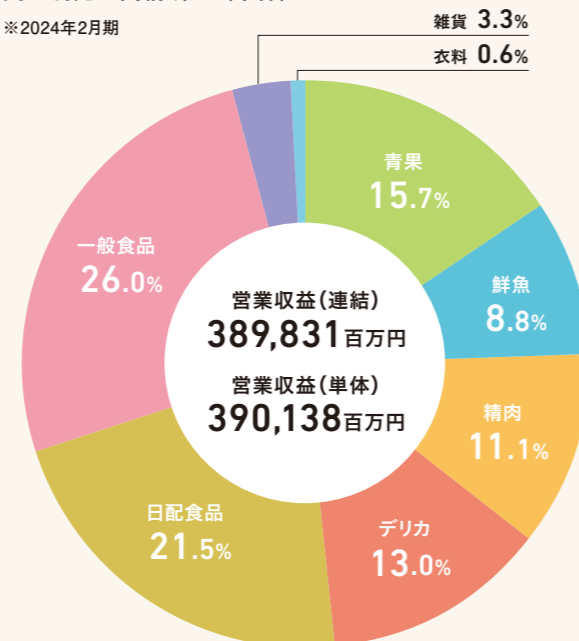
事業内容: スーパーマーケットに特化した教育事業
本社所在地: 埼玉県蕨市中央3丁目22番30号
設立年月: 2002年10月
代表者: 代表取締役社長 齊藤 浩

会社概要

会社名	株式会社 マルエツ
本社所在地	〒170-8401 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
代表電話番号	03-3590-1110
代表者	代表取締役会長 古瀬 良多 代表取締役社長 本間 正治
創業	1945年(昭和20年)10月
設立	1952年(昭和27年)6月16日
資本金	1億円
店舗数	306店舗(2024年7月末現在)
従業員数(連結)	15,572名 パートタイマー11,714名を含む ※1日8時間換算による期中平均人員 ※2024年2月末現在

商品別売上高構成比(単体)

※2024年2月期



U.S.M.Holdings

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社(U.S.M.H)は、2015年3月に株式会社マルエツ、株式会社カスミ、マックスバリュ関東株式会社の経営統合により、共同持株会社として誕生しました。肥沃なマーケットである首都圏に、長年培ってきたブランド力を活かして地域密着のサービスを展開しています。お客さまの生活様式が変化し、消費行動が多様化する中、U.S.M.Hは、地域のお客さまの豊かで健康的な食生活に貢献し続けるために、地球環境の保全や、全てのステークホルダーの皆さまの「ウェルビーイングの実現」に貢献することを目指しています。そして、より大きな社会的貢献を果たすべく、「結び付き」を深め、多くの人々が「集う」グループへ進化してまいります。

U.S.M.Hのサステナビリティに関する取り組みについて「統合報告書2023」で紹介しています。▶



● 会社概要

社名 / ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社
代表者 / 代表取締役社長 藤田 元宏
本社所在地 / 東京都千代田区神田相生町1番地

● グループ店舗数

グループ合計
531店舗

※2024年7月末現在

